



2022年12月期 3Q 決算説明資料

東証スタンダード2597

株式会社ユニカフェ

2022年1月1日～2022年9月30日



決算の概況

～連結～

決算概況：連結PL

売上高76億65百万円、営業損失47百万円

(百万円)

	2021年12月期 3Q (2021年1月1日～9月30日)		2022年12月期 3Q (2022年1月1日～9月30日)	
	(連結)	対売上高比	(連結)	対売上高比
売上高	11,155	100.0%	7,665	100.0%
営業利益又は 営業損失(△)	17	0.2%	△47	△0.6%
経常利益又は 経常損失(△)	33	0.3%	△44	△0.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四 半期純損失(△)	65	0.6%	△170	△2.2%
E B I T D A	207	1.9%	360	4.7%
R O E	0.9%		△2.8%	

※収益認識会計基準を当第1四半期連結会計期間の期首から適用したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,727百万円減少、売上原価が3,679百万円減少、販売費および一般管理費が40百万円減少し、営業損益、経常損益及び税金等調整前四半期純損益はそれぞれ8百万円減少しております。

連結PLの内訳

(百万円)

	2022年12月期 3Q (2022年1月1日~9月30日)						
	(当社)	対売上高比	(アート コーヒー)	対売上高比	(連結調整)	(連結)	対売上高比
売上高	5,467	100.0%	2,626	100.0%	△429	7,665	100.0%
営業利益又は 営業損失(△)	△120	△2.2%	19	0.8%	53	△47	△0.6%
経常利益又は 経常損失(△)	△57	△1.1%	27	1.0%	△14	△44	△0.6%
当期純利益又は当期純 損失(△)及び 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△171	△3.1%	14	0.6%	△14	△170	△2.2%

自己資本比率は前連結会計年度末比4.0%p上昇し45.5%

(百万円)

		2021年12月期 (連結)	2022年12月期 3Q (連結)	増減額
資産の部	流動資産	8,832	7,155	△1,676
	固定資産	5,872	5,667	△204
	資産合計	14,704	12,823	△1,880
負債の部	流動負債	5,025	4,010	△1,015
	固定負債	3,580	2,974	△605
	負債合計	8,605	6,985	△1,620
純資産の部	株主資本	6,108	5,838	△270
	評価・換算差額等合計	△9	0	10
	純資産合計	6,098	5,838	△260
負債純資産合計		14,704	12,823	△1,880
自己資本比率		41.5%	45.5%	4.0%p

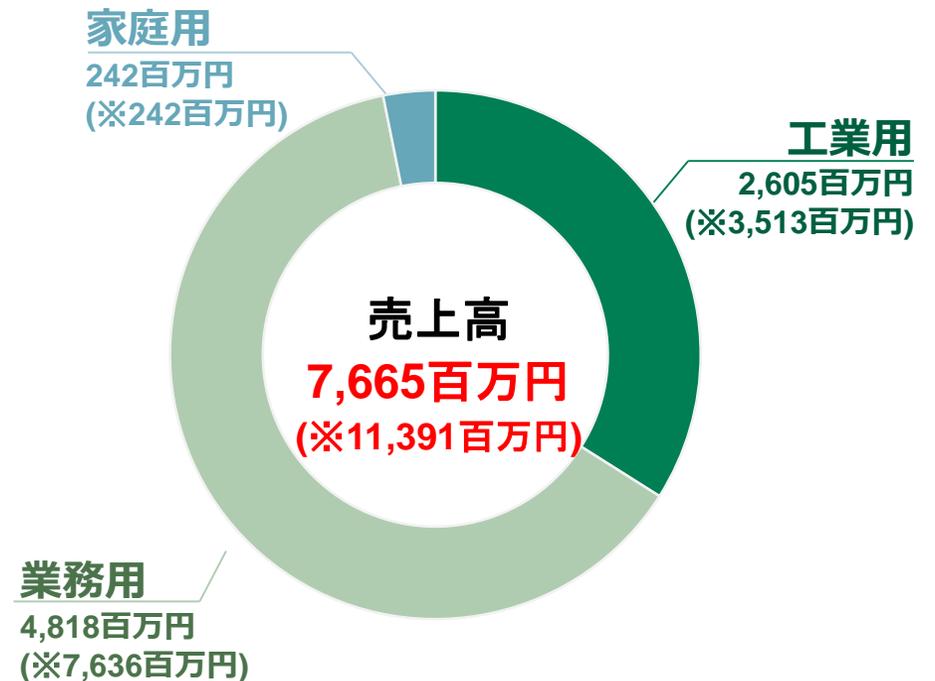
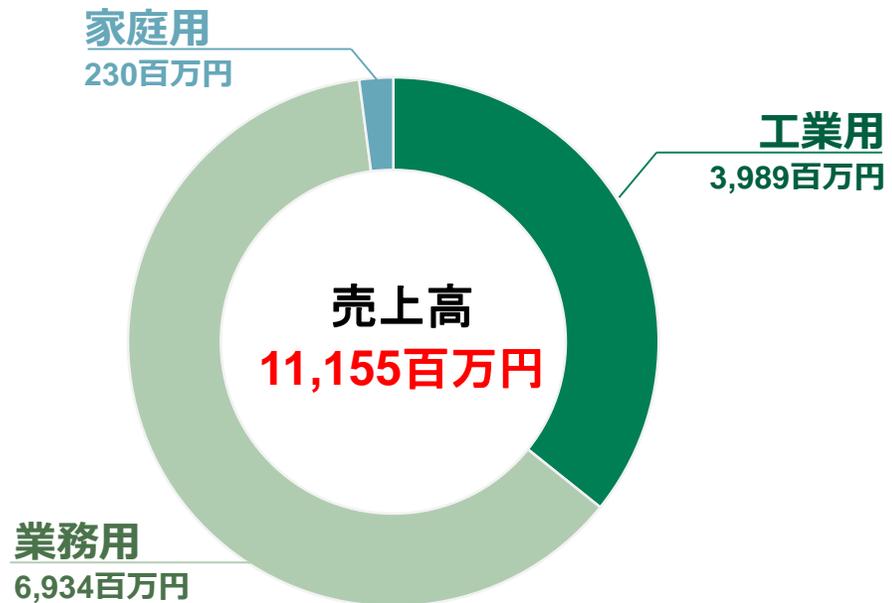
分野別 サマリー(連結)

2021年12月期 3Q 連結 (2021年1月1日～9月30日)

2022年12月期 3Q 連結 (2022年1月1日～9月30日)

売上高

※2022年12月期の 収益認識会計基準適用前の売上高は、()内の金額となります。

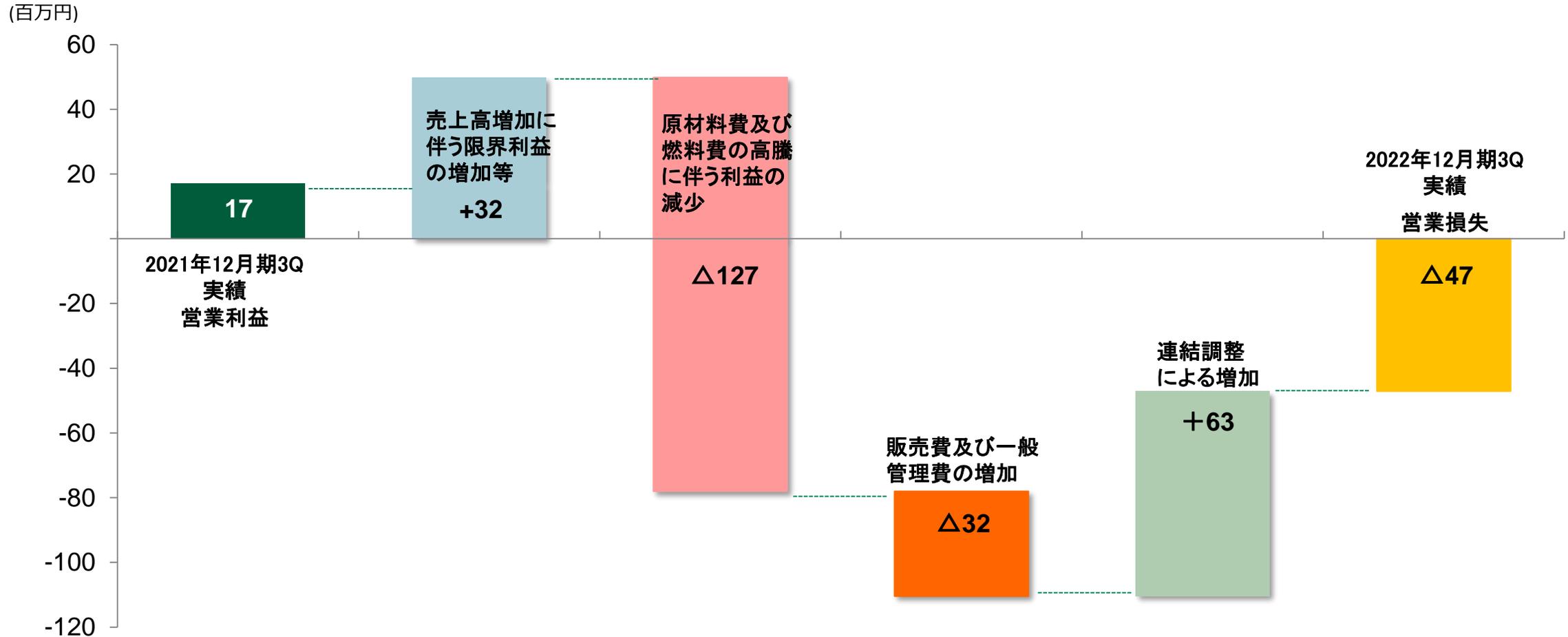


工業用コーヒーは一部主要取引先において販売数量が減少したことにより売上が減少。業務用コーヒーは外食店の需要の持ち直しによる販売増加や、消費者需要の変化への適応により伸長。
 ※収益認識会計基準の適用により、売上高は3,727百万円減少しております。



営業利益の増減分析(連結)

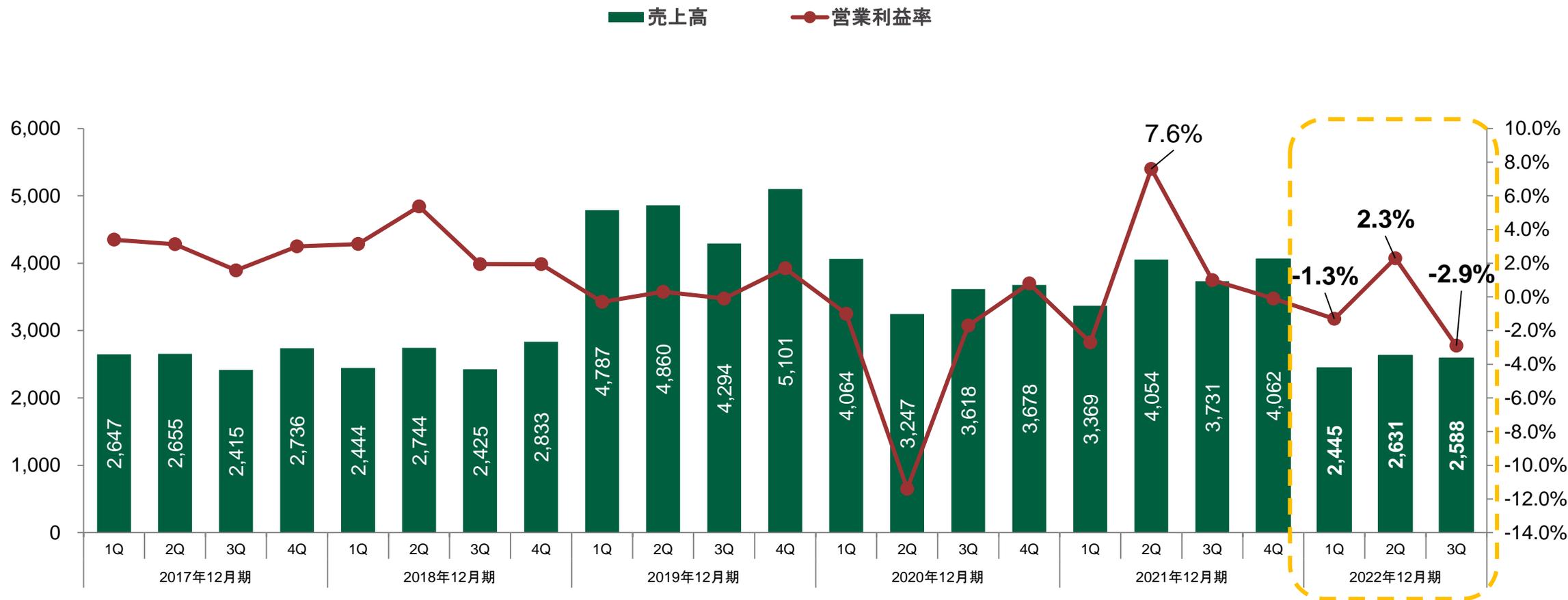
当第3四半期連結累計期間の営業損失47百万円





主な指標

四半期業績の推移



※1. 2019年12月期より連結決算となっております。

※2. 収益認識会計基準を第1四半期連結会計期間の期首から適用したことにより、売上高が3,727百万円減少しております。

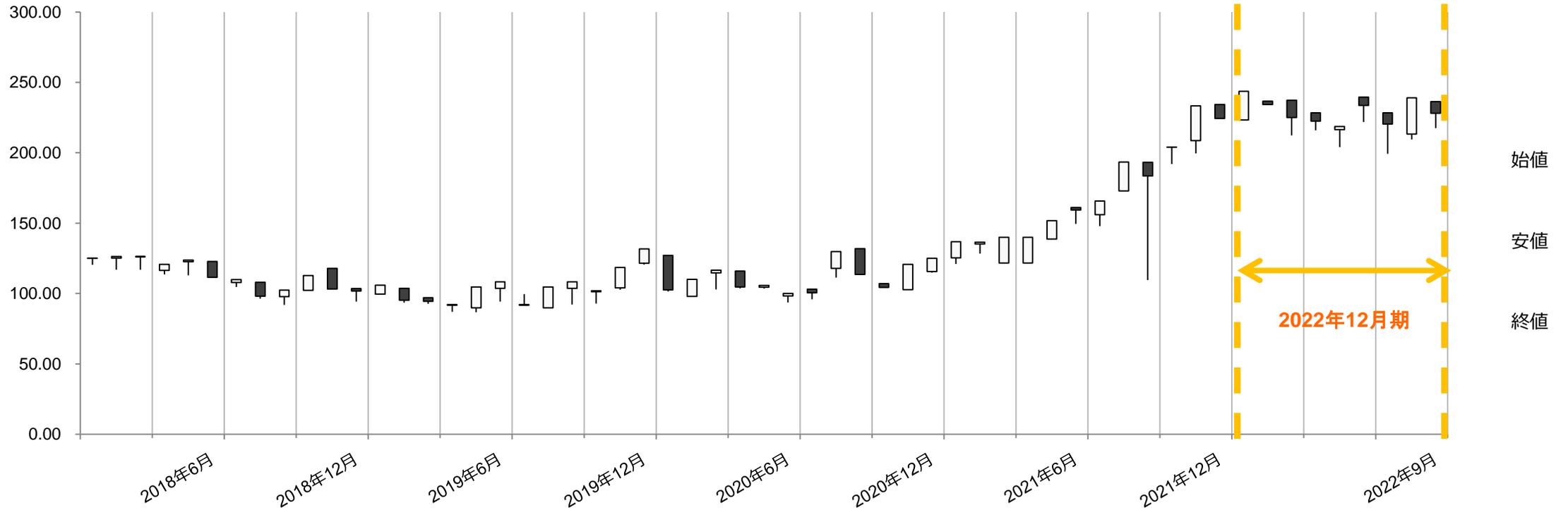


コーヒー相場

相場水準は高騰しており、先行きは不透明な状況

NYコーヒー相場

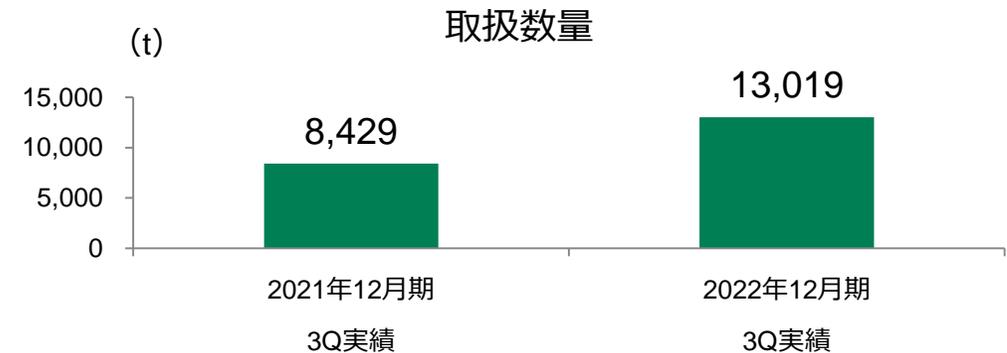
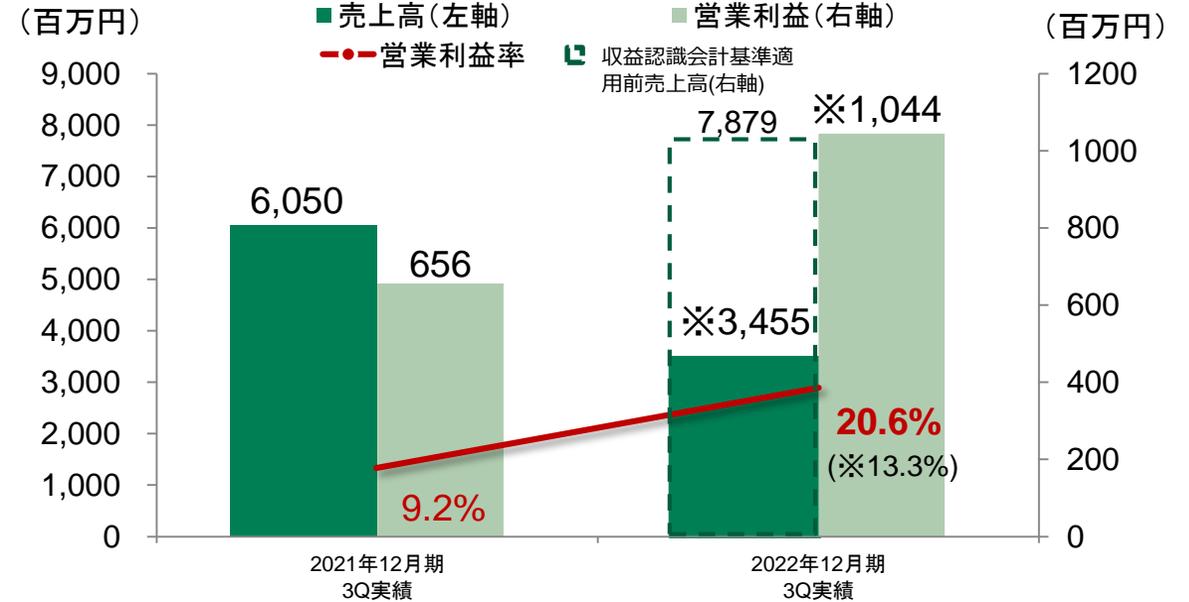
(¢/ポンド)



チャネル別の業績(業務用)

☝ コロナ禍で大きく減少した需要の一部持ち直しによる販売増や、新しい生活様式に基づく消費者需要の変化への適応による伸長等により、売上高、取扱数量ともに昨年を上回る。

- ※1. 営業利益につきましては、間接部門の費用を配賦する前の数値となっております。
- ※2. 2022年12月期の売上高・営業利益につきましては、収益認識会計基準の適用後の数値となっております。
- ※3. 収益認識会計基準適用前の2022年12月期期の営業利益率につきましては、()内の数値となっております。



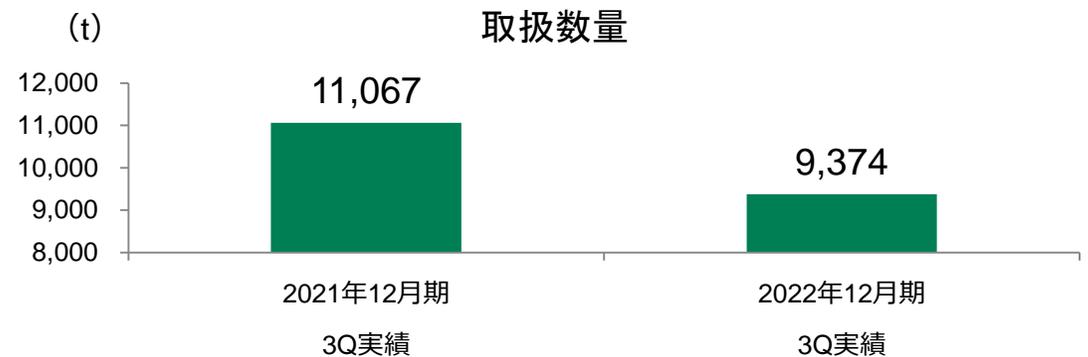
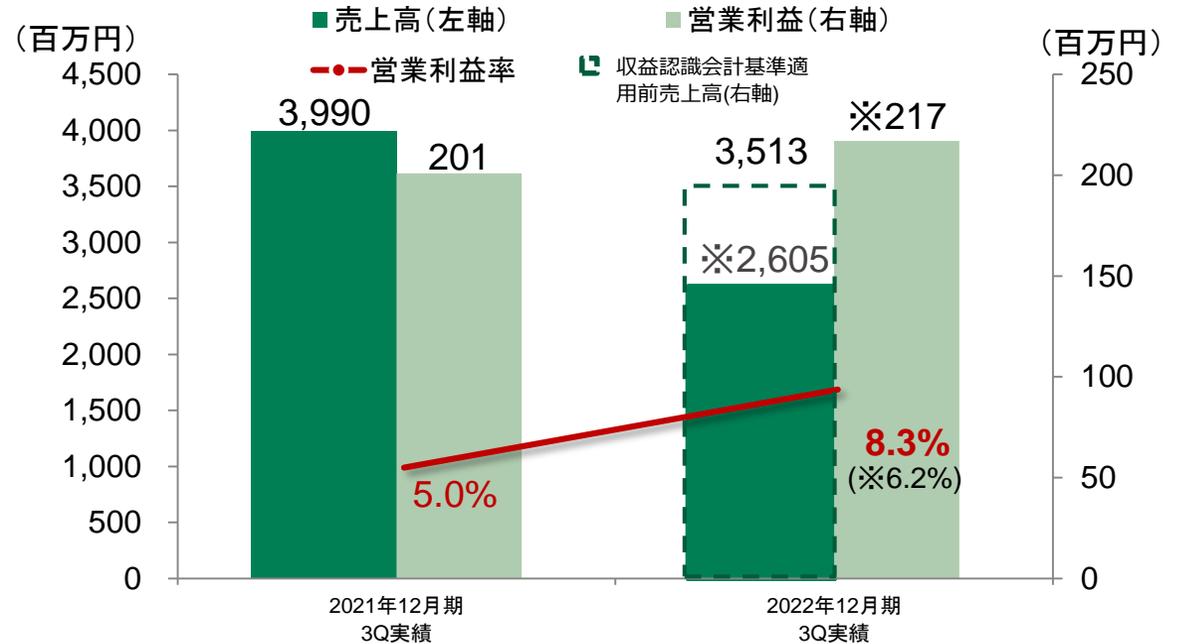
チャネル別の業績(工業用)

主要取引先の一部において取引が減少したことにより、売上高、取扱数量ともに昨年を下回る

※1.営業利益につきましては、間接部門の費用を配賦する前の数値となっております。

※2.2022年12月期の売上高・営業利益につきましては、収益認識会計基準の適用後の数値となっております。

※3.収益認識会計基準適用前の2022年12月期月の営業利益率につきましては、() 内の数値となっております。



2022年12月期業績予想について

2022年12月期通期連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株式に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想（A）	-	-	-	-	-
今回予想（B）	10,700	△140	△150	△280	-
増減額（B - A）	-	-	-	-	-
増減率（%）	-	-	-	-	-
（ご参考）前期実績 （2021年12月期）	15,218	13	23	294	22.05

Disclaimer : 本資料に関するご注意

免責事項

本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社の将来の業績と異なる可能性があります。

なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

インサイダー取引に関するご注意

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。

同法施行令第30条等の定めにより、二つ以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または金融証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびEDINET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。